

美しい宇和海を子どもたちに残すために
～石けん運動と魚食普及に取り組んで～

北)下灘漁協婦人部
部長 浜田愛子

1. 地域と漁業の概況

私たちの所属する愛媛県北宇和郡下灘漁協は、高校野球でおなじみの宇和島東高校から国道56号線を南へ約20kmの場所で津島町嵐にあります。

前は海、後ろは山のリアス式海岸で風光明媚な地域です。

組合員は、正組合員が536名、准組合員18名、計554名です。

内訳としては、母貝養殖293名、真珠養殖209名、魚類養殖7名、その他45名で、ほとんどの組合員が真珠養殖に携わっていますが、この2～3年のあこや貝大量死の影響で、年間の収入は10分の1以下に落ち込んでいます。

現在では、生活の見通しがつかなくなっている人も多く、別の仕事に出ていく後継者がどんどん増えております。

以前は、真珠の仕事で生活が出来るようになって潤いだしてからは、若者のUターン者が沢山帰って来ましたが、今は見る陰もありません。

このまま真珠産業の低迷が長引けば、下灘から若者がいなくなってしまう、寂れた漁村になるのは目に見えております。

私たちは、海からの恩恵を受けて仕事をやってこられたのに、海的环境はますます悪くなっております。

2. 婦人部の組織と運営状況

昭和43年2月に結成しておりましたが、実際に活動を始めたのは、昭和56年9月からです。

今年度の婦人部員数は494名ですが、平成5年度は530名もおりました。

以前と比べると大分減ってしまいました。部長1名、副部長2名、各地区役員20名、事務局1名で構成しております。

減ってきたとは言え、まだまだ部員数が多いので、全員が集まっての活動はできませんが、各地区の役員さんの努力で、まとまりのある組織活動を展開しております。

運営については、漁協からの助成金と年会費、町からの補助金などで行っております。

3. 活動課題選定の動機

私たち婦人部は、貯蓄推進、長寿社会に向けての取り組みとして、栄養に関する勉強会や介護教室を開いたり、海産物の共同購入販売、石けん推進運動、そして魚食普及活動に力を入れて来ました。

特に、2年に1度は必ず「石けんの集い」もしくは、「石けんの勉強会」を100人～300人集まって頂き開催して参りましたが、この2～3年の海の状態の悪化に伴い、安い成洗剤を買うようになって、石けんの使用率がしだいに悪くなって参りました。

また、昨年、婦人部総会の折、石けんや生活全般の質問があった事もあって、もう1度基本にもどり、石けん推進と魚食普及を見直そうと思いました。

4. 実践活動の推進状況とその成果

昨年11月9日に、助成事業として「環境づくり講習会」を、漁協大ホールにて行いました。講師には、私たちが所属する宇和島ブロック漁協婦人部協議会の会長さんをお招きして“石けんはどうして良いのか”“なぜ、合洗洗剤は環境に悪いのか”を詳しくお話して頂き、その中では、紙芝居で合洗洗剤の恐ろしさの説明や、腹話術を使っただけの話もあり、最後に水槽実験を実施致しました。5つの水槽に20ℓずつ海水を入れて、5種類（アムエ・ママレモン・アタック・合成シャンプー・わかしお石けん）の洗剤を入れました。

会場の人たちにも良く見えるように、水槽の近くまで近寄ってもらい、黒魚も同じ数程入れましたが、合成洗剤の入った魚は5～15分で完全に腹を浮かして死んでしまったのには、みんな「わあー！」と声を挙げてびっくり。

でも、わかしお石けんの入った魚は、講習会が終わっても元気に泳いでいるのを見て、私たち役員も「やった！」と思いました。実験終了後、魚は海に戻しました。

何度も「合成洗剤は体にも悪いし、環境にも悪影響を与えていますよ！」と説明するより、実際に実験を見るのが一目瞭然です。見ることも大切だなと実感致しました。

その後、地域の小学校のPTAから、是非、石けんの講習会を子供たちと親にも見せて欲しいと要望がありまして、1月19日にも講習会を開催致しました。

水槽実験の後で、子供たちや親たちにアンケートを取りましたので、その一部を紹介させていただきます。

小学校5年生男子「魚が死んだのはかわいそうだったけれど、合成洗剤が悪い事が良く解った。」又、「ママレモンや他の洗剤で5分位で死んだので、使わないほうがよいと思った」とありました。

これからもどんどん、山の人達や町の人達にも水槽実験を行っていかうと思っております。

「石けん推進運動」の次に「魚食普及」にも力を入れて参りました。

毎年12月に、「おさかな料理教室」を、津島町内の岩松、北灘と下灘の3漁協婦人部合同で実施しております。

平成元年に「おさかな1日ヘルシー教室」開催したことがきっかけとなり、毎年行う様

になり、今では役場からの助成も頂けるようになり、年間行事になっております。

1月に行われる「しらうお祭り」にも3漁協婦人部が参加するので、約40名が顔見知りになれる事もあって、にぎやかに料理を作ります。

出来上がった料理は食べながら、各班毎の感想や、おさかなママさんのお話を聞かせて頂き、又、役場の職員の方々にも味見をして頂いたりして、和やかに食事を致します。

毎年1月の最終日曜日には、津島町主催の「しらうお&産業まつり」が開催されます。

商工団体や農林水産団体の協力で、郷土料理や地域の特産品の展示や即売を行っております。

私たち漁協婦人部は、「ハマチのカリカリ揚げ」や「タイの炊き込みご飯」「海戦チャンコ」を600食程試食で配ります。

前日には、炊き込みご飯やチャンコの具を切るために、岩松や北灘漁協婦人部の人達と協力して、お昼から皆んなで手分けして段取りを致します。

当日は、岩松河原で10時半から始まりますので、朝早くから中央公民館の調理室に役員が集まり、おにぎりを握ったり、チャンコを沸かしたり、ハマチを揚げたりして、出来上がると会場で呼び込みをしたり、又、石けんや練り歯磨きなどの販売も行います。

毎年の事なので、このごろは、大型バスで来て頂けるようになりました。

私たちのコーナーは、いつも“あっ”という間に終わってしまいますので、2回に分けて試食をして頂いたおります。

他のコーナーで、まぐろの解体やにぎり寿司の実演販売、しらうおのおどり食いやふくめん、それにミカンやしらす干しなどの販売もあり、お祭りムード一色です。

又、冬場は、各地区で「おさかな料理教室」を開催しております。これは、年に一度は必ず、地域で料理や手芸・お菓子づくり等色々な勉強会をするように進めているのですが、近年は「おさかな料理教室」をする事が多くなっております。

これは、魚食普及の目的で、おさかなママさんに来て頂いて実施しております。

各地区の公民館に集まって頂き、ワイ！ワイ！ガヤ！ガヤ！とにぎやかに料理を作ります。お昼には、楽しくご飯を頂きながら、材料の批評をしたり栄養の話を伺ったり、情報の交換をして親睦を図ります。

最近の料理教室の献立表を載せておりますので、後程ご覧ください。

5. 今後の活動方針と問題点

毎年、婦人部総会には250名の部員が集まります。2～3年前にも「石けんを広める会」という団体の方をお呼びして講演会を開催致しましたが、その時の若い役員さんの感想で、「もう1度、石けんの事を基礎から学びたい」「もう1度今の生活を見直そう」という声が多く、昨年度からは、講演会を止めて「皆んなで話し合う会」を設ける事に致しました。質問も沢山あり、有意義な意見も出たりして、実りある総会になりました。

このすばらしい宇和海は、私たちのかけがえのない財産です。あこや貝大量死の原因が感染症であれ、薬害であれ、魚の養殖業者も真珠養殖業者も一緒にこの海で生活しているのですから、海を汚さない事が大事なのではないでしょうか。

私たちはサラリーマンと違い、1年に1回の収入で生活しているのですから、お互いに

共存共栄でやって行かなくてはならないと思うのですが、いかがでしょうか！

海洋汚染、環境破壊をしないために、まず、私たち漁協婦人部が行政とも協力して、やれること・できること、そして、もとの豊かな海、美しい海に戻し、次の世代の子どもたちに受け継いで行けるよう、努力して行きたいと思っております。

これからの要望は、いまだ明るい望みがあるとは思いませんが、真珠の仕事を続けたいし、やって行きたいと思っております。

インドのデリー大学の副総長の話しに、「どういう社会が『進歩した社会』か。それは『強い経済の社会』ではない。『弱者を大切に作る社会』です。楽しく踊るのもいい。歌うのもいい。しかし、他人を傷つけてはいけない。『自分中心』のわがままは、いけない。皆が平等で、喜びを分かち合う……そういう社会を築くべきです。」と語っております。

もうすぐ21世紀、新しい千年の始まりです。

私たち女性は、一家の太陽です。家族を暖かく見守って行かなければなりません。海にやさしく、未来を担う子供たちのためにも、今は寒いさむい冬のような状況ですが、暖かい春が必ずやって来るのを信じて、この津島町下灘で頑張っていきたいと思っております。

下灘漁協婦人部活動実績表

(平成元年～10年度) 単位：千円

年度	摘要	婦人部による 貯蓄推進集金額	海産物共同購入販売額 (ワカメ、のり等)	石けん関係売上げ実績	
				数量	金額
平成 元年		22,417	610	9,956	4,342
2 年		22,645	711	14,751	6,397
3 年		24,383	1,010	16,037	6,979
4 年		24,329	956	18,892	7,979
5 年		23,601	1,356	19,145	8,090
6 年		24,557	1,573	18,081	8,211
7 年		23,009	1,280	16,783	7,484
8 年		21,257	1,296	※18,131	9,194
9 年		19,090	1,035	10,768	5,064
※ 10 年		14,696	1,321	11,554	4,981

※ 消費税UPによる買いだめの影響

※ 平成10年度は平成11年1月まで

おさかな料理教室開催報告表

(平成9年12月～平成11年2月)

開催年月日 場 所	講 師	対 象 者	参加人数	献 立 表
平成9年 12/8 (津島中央公民館)	おさかなママさん 清家 幸子 中村 タニ子	津島町 漁協婦人部員	33名	(1)ブリの手巻寿司 (2)ハマチのかりかり揚げ (3)小魚の三杯酢 (4)けんちん汁
平成10年 1/21 (鼠鳴集会所)	おさまなママさん 清家 幸子 中村 タニ子	鼠鳴地区婦人部員	25名	(1)ひじきご飯 (2)すまし汁 (3)ヘルシーパン粉焼き (4)ハマチの大根サラダ
平成10年 1/26 (下灘公民館)	おさかなママさん 清家 幸子 中村 タニ子	嵐地区婦人部員	18名	(1)鯛の中華風刺身 (2)いりこのかりんとう (3)イカの天ぷら (4)アラの赤だし
平成10年 2/6 (浦知集会所)	おさかなママさん 清家 幸子 中村 タニ子	浦知地区婦人部員	15名	(1)ひじきご飯 (2)ハマチの大根サラダ (3)イカの天ぷら (4)アラの赤だし
平成10年 2/23 (塩定集会所)	おさかなママさん 清家 幸子	塩定地区婦人部員	15名	(1)タコ飯 (2)豆腐汁 (3)シーフード三色揚げ (4)かりかりあじのヨーグルト風味
平成10年 2/23 (須下集会所)	おさかなママさん 中村 タニ子	須下地区婦人部員	25名	(1)イカ飯 (2)魚のすり身花飾り (3)アジの麦味噌炒め (4)かきとにらのスープ
平成10年 12/14 (津島中央公民館)	おさかなママさん 清家 幸子 船田 夏美	津島町 漁協婦人部員	38名	(1)にゅう麺 (2)アジのニース風 (3)鯛とりんごのサラダ (4)すまし汁
平成11年 1/19 (下灘公民館)	おさかなママさん 清家 幸子	嵐地区婦人部員	15名	(1)ブリの手巻寿司 (2)鯛とりんごのサラダ (3)船場汁
平成11年 1/24 (須下集会所)	おさかなママさん 中村 タニ子	須下地区婦人部員	20名	(1)牡蠣とほうれん草のクリームパゲイ (2)鯛のグラタン (3)アジのヨーグルトサラダ
平成11年 2/6 (鼠鳴集会所)	おさかなママさん 清家 幸子	鼠鳴地区婦人部員	20名	(1)おもぶり (2)船場汁 (3)ハマチのステーキ (4)イワシの和風サラダ
平成11年 2/7 (塩定集会所)	おさかなママさん 清家 幸子	塩定地区婦人部員	12名	(1)ブリの手巻寿司 (2)鯛とりんごのサラダ (3)船場汁
平成11年 2/7 (平井集会所)	おさかなママさん 中村 タニ子	平井地区婦人部員	20名	(1)チリメン入りご飯 (2)船場汁 (3)鯖のイカベツカレ風味サラダ仕立て (4)イカの天ぷら
平成11年 2/14 (田畠集会所)	おさかなママさん 清家 幸子	田畠地区婦人部員	20名	(1)鯛飯 (2)船場汁 (3)鯛の中華風刺身 (4)大豆と小魚の栄養まんまる揚げ
平成11年 2/15 (成集会所)	おさかなママさん 清家 幸子	成地区婦人部員	20名	(1)ひじきご飯 (2)すまし汁 (3)ハマチステーキ (4)イワシの和風サラダ
平成11年 2/16 (浦知集会所)	おさかなママさん 清家 幸子	浦知地区婦人部員	15名	(1)イワシのひゅうが飯 (2)イワシの和風サラダ (3)ハマチのかりかり揚げ